

平成30度 新宿駅周辺防災対策協議会

訓練・検証会実施報告

2019年2月25日

鱒沢工学研究所
鱒沢 曜

平成30年度協議会活動スケジュール

	総会・地域部会・訓練	セミナー・講習会・イベント	周知啓発取組
2017 5月	●5/23(水) 総会		●5/23 周知啓発活動方針決定
6月		●6/29(金) 自衛消防組織の震災対応活動講習会	イベント等の機会をとりえてノベルティ配布等を実施
7月		●7/19(木) 第1回セミナー	
8月		●8/31(金) 応急救護講習会(基礎コース)	
9月	●9/12(水) 第1回西口地域部会 ●9/27(木) 東西地域訓練説明会(多数傷病者対応訓練)	●9/14(金) 応急救護講習会(応用コース) ●9/20(木) 第2回セミナー	
10月	●10/3(水) 東西地域地震防災訓練(多数傷病者対応訓練)	●10/10(水) 現地本部運営講習会 ●10/19(金) 建物被害対応の実践トレーニング ●10/24(水) 第3回セミナー	●10/18(木) 西新宿防災フェア2018 in新宿野村ビルに出展
11月	●11/8(木) 西口地域訓練説明会 ●11/15(木) 西口地域地震防災訓練(自衛消防訓練・現地本部訓練)	●11/13(火)～21(水) 新宿防災ウィーク2018 ●11/20(火) 新宿中央公園災害用トイレ設置体験会	●防災ウィークに合わせて周知啓発活動を強化
12月	●12/14(金) 東西地域訓練検証会 ●12/14(金) 西口地域訓練検証会		
2018 1月		●1/31(木) 一時滞在施設運営訓練	
2月	●2/25(月) 第2回西口地域部会		
3月			

平成30年度 訓練実施概要

■基本方針

「新宿モデル」(情報収集伝達、避難誘導支援、医療連携、建物安全確認のしくみづくり)の実現に向けて、新宿駅周辺防災対策協議会を中心に各事業者や施設等における災害対応、地域連携による情報収集伝達や傷病者対応などの「自助」および「共助」を基本とする訓練を行う

■主な対象

協議会会員事業所・団体等

■実施訓練

首都直下地震による発災直後の状況および発災後一定程度時間が経過した状況を想定し、東西それぞれの地域特性に応じた場面設定に基づき実施

東西合同：多数傷病者対応訓練

西口地域：自衛消防訓練(震災対応訓練)

西口現地本部訓練

平成30年度 新宿駅周辺防災対策協議会
第2回西口地域部会 2019年2月25日

3

平成30年度 訓練実施概要

	東西地域合同地震防災訓練 (多数傷病者対応訓練)	西口地域地震防災訓練 (自衛消防訓練)	西口地域地震防災訓練 (西口現地本部訓練)
訓練日時	2018年10月3日(水) 13:00～17:00	2018年11月15日(木) 13:30～17:00	2018年11月15日(木) 13:30～17:00
訓練会場	工学院大学新宿キャンパス 1階アトリウム	工学院大学新宿キャンパス 1階アトリウム	工学院大学新宿キャンパス 2階
参加者 (H29実績) <small>※運営参加者除く</small>	43名 (48名※1)	14名 (19名)	11名 (34名)
主な訓練 実施項目	<ul style="list-style-type: none"> ・救護活動場所の設置 ・応急救護 ・情報収集伝達 ・医療従事者との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災対応 ・避難誘導 ・救出 ・傷病者対応 ・建物被害対応 ・情報収集・伝達 ・被災状況把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地本部開設・運営 ・通信・情報共有 ・滞留者誘導支援 ・物資・人材調整 ・被災状況把握 ・情報提供
訓練 説明会	9月27日(木)15:00～17:00 工学院大学28階第4会議室	11月8日(木)15:00～17:00 工学院大学高層棟5階A-0514教室、7階A-0712教室	
訓練 検証会	12月14日(金)13:00～14:45 新宿区役所本庁舎5階大会議室	12月14日(金)15:00～16:45 新宿区役所本庁舎5階大会議室	

※1 平成29年度の差数傷病者対応訓練は、西口地域地震防災訓練として実施

多数傷病者対応訓練実施概要

■訓練目標

□地域事業者(非医療従事者)

- ① 救護資機材の展開、チームビルディングができる
- ② 傷病者の症状に応じた応急救護ができる
- ③ 応急救護活動に必要な情報収集伝達ができる
- ④ 医療従事者に傷病者情報の引き継ぎができる

□医療従事者

- ① 救護活動場所の状況を把握し、メディカルマネジメントができる
- ② 1次トリアージを行い、症状に応じた医学的アドバイスができる

■場面設定

- 午前8時30分、都心区部直下でM7.3の地震が発生、新宿の震度:6強
- 新宿駅周辺では建物被害による外傷の傷病者が多数発生
- 発災6時間後、被災を免れたビルの1階が「臨時救護活動場所」となる
- 被災を免れた近隣の事業所勤務者が参集し、救護活動を開始する

多数傷病者対応訓練実施概要

■訓練実施項目

□地域事業者(非医療従事者)

- ・ 救護活動場所の設置…救護資機材展開、チームビルディング
- ・ 応急救護…応急手当、観察記録、搬送
- ・ 情報収集伝達…傷病者の入退出情報、観察記録等の情報管理
- ・ 医療従事者との連携…コミュニケーション、傷病者情報の引き継ぎ

□医療従事者

- ・ 救護活動場所の状況把握、メディカルマネジメント…CSCA
- ・ 救護活動の支援…1次トリアージ、医学的アドバイス
- ・ 非医療従事者との連携…コミュニケーション、傷病者情報の引き継ぎ

①受入記録



②応急手当・観察記録



③引き継ぎ



④トリアージ



⑤搬送



⑥引き継ぎ



⑦退出記録



⑧訓練のふりかえり



自衛消防訓練実施概要

■訓練目標

- ①各班の役割を実践するとともに相互協力して事案に対応する
- ②地区隊と本部隊が情報を共有し連携して活動する
- ③地域の関係機関と情報を共有する

■場面設定

- 都区部直下地震(M7.3)発災直後および発災数時間後
- 仮想超高層テナントビルにおける初動対応

自衛消防訓練実施概要

■訓練実施項目

□発災直後の場面(前半)

- ・ 自衛消防隊編成(本部隊・地区隊)、災害対策本部立ち上げ
- ・ 火災対応(火災確認、初期消火)、避難誘導(消火確認後建物内対応)
- ・ 閉じ込め者対応(閉じ込め者の確認、救出)
- ・ 傷病者対応(傷病者確認、応急手当、観察記録、応急救護所立ち上げ)
- ・ 建物被害対応(建物内残留可否の判定)

□発災数時間後の場面(後半)

- ・ 傷病者対応(情報収集・伝達、搬送)
- ・ 建物被害対応(建物内部使用性の判定)
- ・ 被害情報の把握
- ・ 西口現地本部との情報共有

地区隊参集(地区隊1回目)



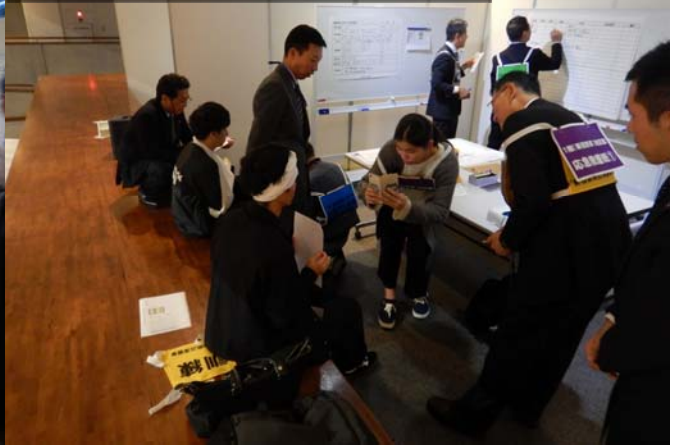
傷病者発見(地区隊1回目)



応急手当・観察記録(地区隊1回目)



傷病者情報収集(地区隊1回目)



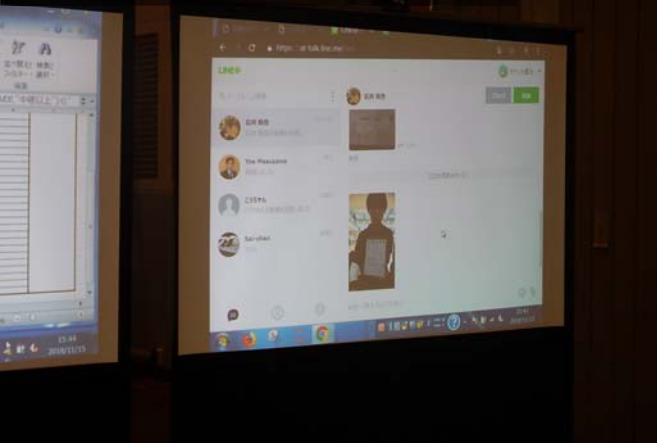
情報収集伝達(本部隊2回目)



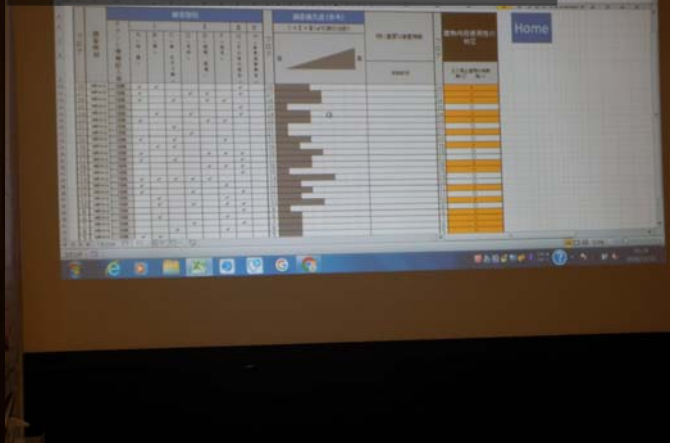
傷病者情報の集約(本部隊2回目)



傷病者情報の集約(本部隊2回目)



建物被害情報の集約(本部隊2回目)



西口現地本部訓練実施概要

■訓練目標

①西口現地本部の役割を知る

- ・事業者の情報交換の拠点
- ・地域の応急救護の情報拠点
- ・災害対応活動の支援拠点

②西口現地本部の立ち上げ手順を習得する

- ・本部立ち上げ
- ・役割分担
- ・各種情報の収集、共有方法

③西口現地本部の運営マニュアルを検証する

- ・マニュアル、手順書、様式などを活用し、使い手の視点にたった改善点を出し合い、改訂版に活かす

西口現地本部訓練実施概要

11月15日(水)10:00発災から数時間経過後を想定(23区:最大震度6弱)

□ 訓練①現地本部立ち上げ《70分》

1) 現地本部組織の確認、役割分担

- ・「西口現地本部組織図」「アクションカード」を元に役割を分担する。
- ・手順書、マニュアルを元に各班の所掌を確認する。

2) 現地本部の設営

- ・2階倉庫から、現地本部開設キット(マニュアル類、資機材ボックス、看板等)を出す。
- ・通信機器(防災無線)を設置し、本部との連絡体制を確保する。
- ・「現地本部レイアウト図」を参考に、資機材の配置、様式の掲示等を行う。

3) 情報の取り扱い方の確認

- ・状況付与を通じ、情報の取り扱いの流れを確認する。
- ・通信機器の確認(防災無線)

□ 訓練②現地本部運営《30分》

- ・状況付与→報告様式→情報のトリアージ(優先順位づけ)→様式に記入→共有
- ・現地本部会議、適宜の問い合わせの対応

訓練の様子(西口現地本部の立ち上げ)



15

訓練の様子(現地本部運営)



本部、事業者等からの各種情報の受付【情報窓口班】



情報の優先順位、信ぴょう性の評価【情報トリアージ班】



各種情報を様式や地図に整理【情報共有班】



16

平成30年度 訓練検証会実施概要

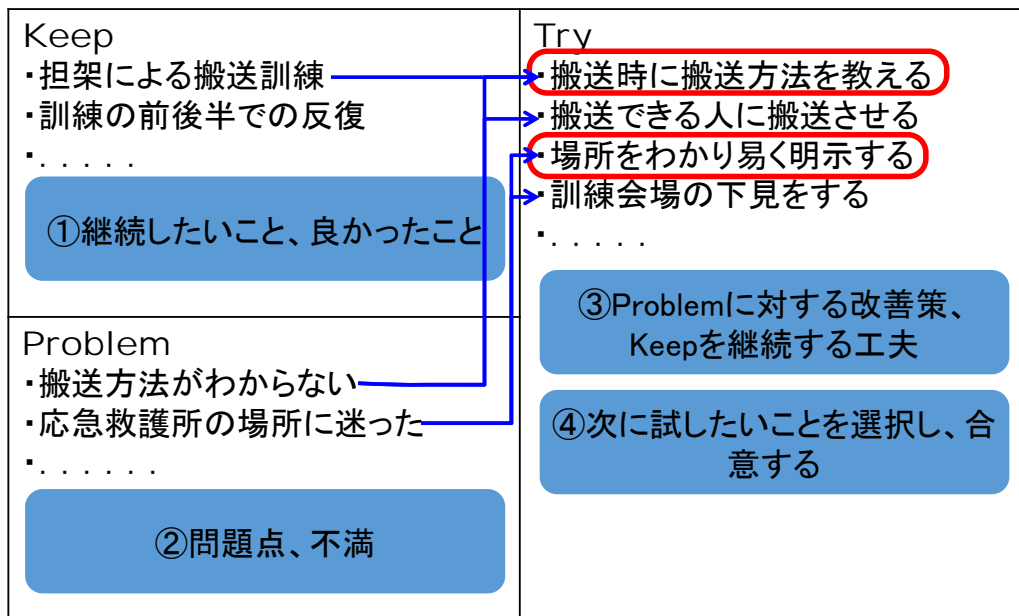
	東西地域合同地震防災訓練検証会 (多数傷病者対応訓練)	西口地域地震防災訓練検証会 (自衛消防訓練・西口現地本部訓練)
実施日時	2018年12月14日(金)13:00～14:45	2018年12月14日(金)15:00～16:45
会場	新宿区役所本庁舎5階大会議室	新宿区役所本庁舎5階大会議室
参加者※1 (H29実績)	29名 (28名)	29名 (28名)
プログラム	1) 検証会の進め方について(解説) 2) 訓練実施報告 ・多数傷病者対応訓練 3) 訓練検証ワークショップ ・6名以下のグループ ・KPTフォーマットによる活動ふりかえり ・グループごとに検証結果報告	1) 検証会の進め方について(解説) 2) 訓練実施報告 ・自衛消防訓練 ・現地本部訓練 3) 訓練検証ワークショップ ・6名以下のグループ ・KPTフォーマットによる活動ふりかえり ・グループごとに検証結果報告

※1 運営参加者を除く、両方の検証会参加者の延べ人数

KPTフォーマットの使い方

訓練ごとのグループで訓練をふりかえり、3つの視点で結果を整理する

- Keep(継続したいこと、良かったこと)
- Problem(問題点、不満)
- Try(Problemに対する改善策、Keepを継続する工夫)



テーマ: 多数傷病者対応訓練のふりかえり【1班】

WS参加者(訓練時役割): H.H Y.M(応急救護班・傷病者役) A.K(情報連絡班リーダー・情報連絡班) M.H R.Y H.I T.I H.F T.M(訓練不参加)

Keep(継続したいこと、良かったこと)

【訓練】

- とにかく参加する必要有(H.H)
- 訓練とても大切(A.K)
- 訓練を通して一連の流れが判る(Y.M)
- 傷病者への声かけの大切さが判った(Y.M)

【講習】

- 担架での搬送方法が判った(Y.M)

【システム】

- 1人に2人で救護する体制(パディ)は良い(H.H)

Problem(問題点、不満)

【訓練方法】

- ルールがない(A.K)
- 人により対応がバラバラでただ立っているだけの人が見受けられた(Y.M)
- シートの記入をもっと簡単に(A.K)

【訓練の内容 etc.】

- 実際は病院には行けない(A.K)
- 症状悪化した時が怖い(H.H)
- 興奮したものが少なかった(H.H)
- 外国人対応に不安(H.H)
- 官公庁の対応も考える必要がある(H.H)

【システム】

- メール送信に手間がかかる(A.K)
- 通信が悪く最初とまどう(A.K)

Try(Problemに対する改善策、Keepを継続する工夫)

【訓練】

- 訓練の継続(A.K)
- 訓練は継続し、練度を上げるには数を増す、または 地区割りをして訓練を実施(Y.M)
- ◎外国人の方にも訓練に参加してもらう(R.Y)
- パディの組合せは男女をペアにする(M.H)
- 訓練参加への呼びかけ(A.K)
- 訓練想定(トラブルを入れる)(H.H)
- 協議会の講習会に参加する(M.H)
- 検証会に参加する(M.H)
- 災害医療の体制を理解してもらう必要がある(H.F)

【システム】

- ITに頼らないマンパワー(M.H)
- ◎作業の単純化(H.I)
- システムのバージョンアップ(A.K)
- シートの見直し(A.K)
- 訓練の当日事前リハーサルにより「メール送信」はうまくいくのでは?(R.Y)
- 検証を基に新たな方法にチャレンジ(H.H)

【新たな取り組み】

- 自分の事業所の消防計画をよく読む(M.H)
- ◎鉄道会社に対する質問(T.M)

◎: 合意された項目

テーマ: 多数傷病者対応訓練のふりかえり【2班】

WS参加者(訓練時役割): M.K K.T Y.N T.O(応急救護班・傷病者役)

Keep(継続したいこと、良かったこと)

【訓練】

- 傷病者の手当てができた(T.O)
- ケガをした人の気持ちがわかった(T.O, Y.N)
- 普段できない経験ができた(M.K)
- 多数のけが人を目の前にしての救護、対応方法(K.T)

【パディ・システム】

- 手当をする時にパディがいて助かった(Y.N)

Problem(問題点、不満)

【訓練方法】

- 応急手当の仕方がわからなかった(Y.N, T.O)

【パディ・システム】

- パディ・システムがうまく機能しなかった(M.K, T.O)

【実現性】

- 実際、対応できる人数に不安を覚えた(M.K, K.T, Y.N)
- このシステム自体が機能するのか?(K.T, T.O)

【その他】

- リーダーの指示が聞こえないときがあった(M.K)

Try(Problemに対する改善策、Keepを継続する工夫)

【訓練】

- ◎定期的な訓練の実施

【パディ・システム】

- パディは常に一緒に行動する。(符号をきめ体に貼る等)

【訓練参加】

- ◎参加者を増やす
- 自身の会社から参加者を増やす
- 会社とトップに直接働きかける(危機管理課等)

【役割】

- 役割の明確性

【その他】

- リーダーの指示

◎: 合意された項目

テーマ: 自衛消防訓練のふりかえり

WS参加者(訓練時役割): O.K(地区隊安全防護班・応急救護班) K.F(本部隊長・本部隊通報班) M.S(本部隊初期消火・避難誘導班) A.K K.T K.O(訓練不参加)

Keep(継続したいこと、良かったこと)

【訓練内容】

1. 訓練を2回反復して行うこと(M.S, A.K)
2. フォーマットは共有しやすい(O.K)
3. 訓練の内容がブラインド形式であること(M.S)

【情報共有ツール】

4. 情報共有手段の改善(O.K)

【事前講習】

5. 講習会、役割説明があることはよかった(K.F)

Try(Problemに対する改善策、Keepを継続する工夫)

【訓練内容】

1. ◎ [訓練内容]各役割の当日マニュアルの様な物があれば(A.K)
2. 訓練の継続(M.S)

【事前講習】

3. 隊長としての判断・指示要領を作成できたら事前講習(K.F)
4. 事前講習での指揮・指示要領の説明(O.K)

【訓練参加】

5. 本訓練の社内研修化(K.T)
6. 社内への参加者呼びかけ(M.S)
7. [参加人数]呼びたい人を明確にして募集をかける(A.K)
8. 本部と地区の訓練内容の共有(O.K)
9. 震災に対する意識づけ(K.O)

【情報共有ツール】

10. 情報共有ツールの検証(M.S)
11. ツールの見直しと準備(O.K)
12. 情報記録表の作成(チェック方式)(K.F)
13. [情報共有ツール]当日、選択制にする(紙、メール、LINE)(A.K)

◎: 合意された項目

Problem(問題点、不満)

【訓練内容】

1. 各班のシナリオがあると安心する(O.K)
2. 個別の訓練は実施しているが、指揮要領・指示要領の訓練必要(K.F)
3. 丸1日有っても良いのでは(A.K)

【参加人数が少ない】

4. 参加人数が少ない点(O.K, M.S)
5. 実際の災害時も少ない人数で対応しなくてはいけない(K.T)
6. 傷病者が少ない(M.S)

【情報共有ツール】

7. 機器が使用できない場合の応急対応も必要(K.F)
8. 白紙のメモだけでは記録が間に合わない(K.F)
9. 訓練で使用するツール(スマホ)は準備してほしい(O.K)
10. 情報共有ツールの不具合(M.S)

テーマ: 西口現地本部訓練のふりかえり

WS参加者(訓練時役割): S1(情報トリアージ)、M、S2(ファシリテータ)、H1(見学者)、H2・K1・K2・O(訓練不参加)

Keep(継続したいこと、良かったこと)

【訓練・コミュニケーション】

1. 訓練を繰り返すばやく、また続けることに意義がある(K1)
2. 現地本部を知っている人が少しずつ増えてきた(M)
3. 本部長役の進め方がよかった(S1)
4. 顔の見える関係づくり・コミュニケーションがよく図られていること(S1・M)

【役割・キット】

5. 立ち上げキット・本部レイアウトを活用できたこと(S2・H1・K1)
6. 役割分担が明確、立ち上げからの訓練で流れがよかった(S1・K1)
7. 参加者主導でやってみても良い(O)

【ツール】

8. 防災無線の利用(H1)
9. 災害対応支援システム(H1)
10. ドローン活用(H1)

Try(Problemに対する改善策、Keepを継続する工夫)

【前提条件・ルール】

1. 情報を確保し、トリアージ(優先順位)(S2・O)
2. 災害時連絡、名簿をリアルに活用(S2・H1)
3. 各ビルとの連携(H1)
4. まずはレベル I、帰宅困難者、対応の確認(H1)

【訓練】

5. 参加者の集め方・増員方策(S1・K1)
6. 本部参加者を決めて実施(O)
7. 講習会・検証会に参加する(日)
8. 現地本部の意識レベルが高いので、素人でも参加できる環境(S2)

【訓練の実施方法】

9. ルール作りの推進(前提条件)(S1)
10. 作戦会議+前提条件、体制もしっかり確認(S2・H1)
11. 関係する他機関との連絡(O)
12. 声出しなど本部要員のイロハ(H1)

【ツール】

13. 地図ツール・情報ツールの整備(S1)
14. ツールの見直し(K2)
15. 各システムドローンの活用(H1)

【その他】

16. 協議会メンバーの身分証明(O)
17. 自分の事業所の消防計画をよく読んでから参加(H2)

◎: 合意された項目

Problem(問題点、不満)

【ルール・前提条件】

1. 最初に目的を明確にする(O)
2. 停電時・帰宅困難から建物被害・傷病者など災害レベルに応じた対応が必要(M・H1)
3. もっと声を出しても良い(復唱)(O)
4. 建物にどこから入るか? 2Fのどこに倉庫があるか?(H2)

【情報ツール】

5. 情報を広く発信できるツール・やりとりにない(S1・M)
6. 情報を自分で集め、絞り、共有を明確に(S・H1・K1)
7. 名簿の活用(H1)

【地図ツール】

8. 地図がわかりづらいので勉強が必要(S2・O)
9. ホワイトボード以前、パソコン処理、誰が出来るか確認が必要(O)

【体制】

10. 参加人数が少なく、参集要員が決まっていない(S1・H2)
11. 役割の分担人数を検討する余地がある(O)



東西地域
訓練検証会
の様子

まとめ

■平成30年度訓練実施報告

- 東西地域合同地震防災訓練
 - ・多数傷病者対応訓練
- 西口地域地震防災訓練
 - ・自衛消防訓練(震災対応訓練)
 - ・西口現地本部訓練

■訓練検証会実施報告

- 訓練検証会実施概要
- 訓練検証ワークショップの結果